



2024年9月18日

各位

会社名 シリコンスタジオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 梶谷 眞一郎
(コード: 3907、東証グロース)
問合せ先 取締役兼コーポレートサービス本部管掌
兼 経営企画部長 竹中 康晴
(TEL. 03-5488-7070)

連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）及び債権放棄に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年12月1日を効力発生日として、当社の連結子会社であるイグニス・イメージワークス株式会社(以下、「イグニス・イメージワークス」といいます。)を吸収合併（以下、「本合併」といいます。）することを決議いたしましたのでお知らせいたします。また、当社は、本合併の決議にあたり、当社がイグニス・イメージワークスに対して有する債権の一部を放棄することを併せて決議いたしました。なお、本合併は完全子会社を対象とする簡易合併・略式合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しております。

1. 本合併の目的

本合併は、当社グループにおける事業再編の一環として、経営資源の集中と組織運営の効率化及び開発推進・支援事業の強化を図ることを目的としています。なお、これまでイグニス・イメージワークスで運営しておりましたコンピューター・グラフィックス映像の企画・制作事業は、本合併後も当社が運営を継続致します。

2. 本合併の要旨

① 合併の日程

取締役会決議日	2024年9月18日
合併契約締結日	2024年9月18日
合併期日（効力発生日）	2024年12月1日（予定）

（注）本合併は、当社においては会社法第796条第2項に基づく簡易合併であり、イグニス・イメージワークスにおいては会社法第784条第1項に基づく略式合併であるため、いずれにおいても合併契約承認のための株主総会は開催しておりません。

② 本合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式とし、イグニス・イメージワークスは解散いたします。なお、イグニス・イメージワークスは債務超過となっておりますが、本合併に先立ち、当社がイグニス・イメージワークスに対して有する債権の一部を放棄することにより債務超過状態を解消した後に本合併を行う予定です。

（放棄する債権の内容）

債権の種類	貸付金、未収収益
債権の額	191百万円（予定）
実施日	2024年11月30日（予定）

（注）同社に対する貸付金、未収収益の債権放棄により、2024年11月期の当社の個別決算においては20百万円の特別損失を計上する予定です。なお、2024年11月期の連結決算においては相殺消去されるため、本債権放棄による連結業績に与える影響はありません。

③ 本合併に係る割り当ての内容

消滅会社であるイグニス・イメージワークスは、当社の完全子会社であるため、本合併に際して株式その他の金銭等の交付は行いません。

④ 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本合併当事者の概要（2024年8月31日現在）

	存続会社	消滅会社
① 名称	シリコンスタジオ株式会社	イグニス・イメージワークス株式会社
② 所在地	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号	東京都渋谷区恵比寿一丁目21番3号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 梶谷 眞一郎	代表取締役社長 ヤナギハラ・ジュンイチ・オリバー
④ 事業内容	開発推進・支援事業、人材事業	コンピューター・グラフィックス映像の企画・制作
⑤ 資本金の額	466百万円	15百万円
⑥ 設立年月日	1999年11月22日	2009年2月23日
⑦ 発行済株式総数	2,973,900株	600株
⑧ 決算期	11月30日	11月30日
⑨ 大株主及び持分比率	株SBI証券 12.20% 梶谷 眞一郎 6.05% 株ティンプス 3.19% 株アルコグラフィックス 3.02% 株スクウェア・エニックス・ホールディングス 2.01% 橋本 和幸 1.84% 株クリーク・アンド・リバー社 1.81% シリコンスタジオ従業員持株会 1.51% 永谷 真澄 1.08%	シリコンスタジオ株式会社 100.00%
⑩ 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	2023年11月期（連結）	2023年11月期（単体）
純資産	1,758百万円	△170百万円
総資産	3,159百万円	617百万円
1株あたり純資産	617円09銭	△284,885円88銭
売上高	4,554百万円	776百万円
営業利益	238百万円	△1百万円
経常利益	246百万円	△4百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	200百万円	△23百万円
1株当たり当期純利益	69円41銭	△38,452円33銭
1株当たり配当金	—	—

4. 本合併後の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併は、当社の完全子会社との合併であるため、当社連結業績への影響はありません。また、本合併により連結対象の子会社がなくなる予定であるため、当社グループは、2025年11月期第1四半期より非連結決算に移行する予定です。

以上